

兵庫県立淡路高等学校

淡高 ARCH プロジェクト

～高校生が主体となった地域防災の取り組み～

1 フラン名について

Awaji…淡路

Region…地域

Connectivity…つなぐこと

High School…高校



明石海峡大橋の「つながる」イメージを柔らかく表現した ARCH（アーチ）という言葉を使って、学校と地域が**手を取り合い**、阪神・淡路大震災の震源地に最も近い高校として、さまざまな経験や人と人とのつながりの大切さ、人のあたたかさを風化させることなく語り続けていくことをねらいとしている。

2 活動の特徴

総合学科の特色をいかした体験的な学びの成果を、地域に発信し、本校生徒が主体となった地域防災活動の実現を目的としている。平成31年1月17日（木）**総合防災訓練**が集大成。



炊き出し班



保育班



衛生環境班

3 本校の4系列

(A) 個性[★]を磨く4系列

調理	花と緑と海の めぐみ
まなび 探究	ライフ サポート

(A) 地域とともに



「食農甲子園」
淡高商品アピール!



「ささやか真心イベント」
保育所で交流

(A) 地域とともに

青少年
ふれあい
料理教室

(A) 地域とともに



地域・警察の方々と
「交通安全マスク」配布



地域の生活のために
市長さんと対談

4 防災教育

阪神・淡路大震災の被害を受けた学校として平成11年度から防災・減災について学ぶ「**防災と心のケア**」を学校設定科目として行っている。阪神・淡路大震災や東日本大震災など自然災害について、本校の教員による授業をはじめ、外部団体の協力により講話や体験学習を行い、**防災マップ**の作成や**語り部活動**などに取り組んでいる。

防災マスコットキャラクター
『チンゲンさいコン』



5 地域との連携活動

4月	交通安全マスコット配布①	(家庭クラブ)
5月	ささやか真心プレゼント	(生徒会・家庭クラブ)
6月	淡高サロン①	(ライフサポート福祉)
	めぐみ市①	(花と緑と海のめぐみ)
7月	青少年ふれあい料理教室	(家庭クラブ)
	語り部活動①	(防災と心のケア選択者)
9月	保育実習	(ライフサポート福祉)
10月	掻い掘り	(花と緑と海のめぐみ)
	具一 グランプリ	(家庭科・調理)
	兵庫県民農林漁業祭	(花と緑と海のめぐみ)
11月	めぐみ市②	(花と緑と海のめぐみ)
	淡高サロン②	(ライフサポート福祉)
12月	語り部活動②	(防災と心のケア選択者)
1月	地域住民との合同避難訓練	(全校生徒)

○語り部活動

毎年実践している**野島断層保存館**での語り部活動を「防災と心のケア」選択者13名が継続して行った。今年度は7月12日～14日と12月12～14日の計6日間実施した。**熱心に聴いてくれる方が多く**、逆に質問されることが多くあり、質問に対する返答が今後の課題となった。



○防災お菓子ポシエットづくり

「**一般社団法人おいしい防災塾**」の西谷真弓代表に防災お菓子ポシエットづくりを教えていただいた。認定校となったので、11月5日にそごう神戸店「**“ハッピーforKOBE 工作ブース”**」にて防災お菓子ポシエットのブースを出し実践した。



○めぐみ市

生徒たちが作った**野菜や花、クッキー・ビスケット・ジャム**などを地域の方に販売した。地域の方が喜んで買っている顔を見て、生徒たちも**やりがい**を感じていた。



○淡高サロン

北淡センターで開催し、**地域の方22名**が参加してくれた。皆さんが笑顔で、「楽しかった」「おいしかった」と言ってくれて生徒たちは本当に喜んでいた。

